

志望動機がうまく書けない人へ



I. 「志望動機」の基本は2部構成！

② インターンシップに参加したい理由

- ・ゼミや学業で学んだことを、現場で体感したいと思ったから。
- ・アルバイトを通して業界や職種に興味をもったから。
- ・自分が関心あることの現場を見てみたいと思ったから
- ・まだ職業選択が定まっていないから。
- ・・・etc



① なぜ〇〇社を希望するのか

- 貴社の・・・
- ・事業内容、経営理念、社長の考え方に共感。
 - ・仕事内容に興味があるから。
 - ・〇〇を学べる、学びたいと思ったから。
 - ・説明会で〇〇の話を聞いて。
 - ・インターンシップのカリキュラム内容に興味をもったから。
 - ・・・etc

II. 「志望動機」の基本は2部構成！

自分の志望動機を整理してみよう！

① インターンシップに参加した理由は？

- ゼミ・学業の延長 アルバイトがきっかけ 社会への関心
ビジネスマナーを学びたい (OR 自信がない) 職業選択のヒントにしたい
就職活動に活かしたい 先輩から話を聞いて

文章を書いてみよう！

② なぜ、その会社のインターンシップに参加したいと思うのか？

III. 先輩の志望動機

例1:ゼミ×企業

現在、大学のゼミナールで企業の持続的競争優位とはどのように生み出されているのかを日々研究しています。この研究を通して、実際の企業では他社との差別化に向けてどのような活動を行っているのかを知りたいと考えインターンシップを希望しました。

貴社は「新エネルギー事業」や「観光関連事業」をはじめとした多くの事業に力を入れ、多角化経営を行っています。多角化経営は一つ一つの事業それぞれが競争優位を獲得し、持続していかなければ成り立たないということを知りました。貴社の社員の方々がどのような目標・熱意をもって仕事に取り組んでいるのかを、現場を通して体験したいと強く思います。また多くの事業活動を自分自身で体験することでどのような仕事をしたのか、私らしい仕事とはどのようなものであるかを考え新しい自分を創造する機会にしたいと考えています。

例2:学業×企業

私は現在、工学部の情報工学科に所属しており、主にプログラミングを中心に、人工知能などの機械学習、信号処理、並列処理や情報セキュリティなどの勉強をしています。ITで今までの生活を変えようという目標を将来もIT系企業に進みたいと考えております。

今回、貴社の説明会に参加し「Papper」を使用してロボットアプリ開発を行うというのを伺い、興味が湧きました。貴社は長年、ホテル業界のシステム開発を行っているということで、pepper にホテルコンシェルジュの役割を担わせるというアイデアにとっても驚きました。

今回のインターンシッププログラムではこの pepper のアプリ開発を GUI でできると伺い、自分のスキル向上に繋がると思い希望しました。

例3:アルバイト×企業

私は、接客業のアルバイトを始めたことをきっかけにお客様に喜んでもらい、感謝されることの嬉しさを知り人と関わる仕事をしたいと思うようになりました。ホテル業は密にお客様と関われる職業であるため、このインターンシップを通しておもてなしの知識やスキルを学びたいと思います。

貴社は日本に進出して約50年という長い歴史のリゾートホテルであり、また、都心に近いという立地から様々なお客様が訪れるため、多様な接客技術を学べると考えインターンシップを希望しました。世界的に多くのホテルを展開している貴社のグローバルなおもてなしを吸収し将来に活かしていきたいと考えています。

例4:社会への関心×企業

スマートフォンの普及にともない、多くの利用者が最新の情報を簡単に入手できるようになり、電子書籍などのあらたな媒体の登場によって紙媒体の消費が減少し、ここ数年は出版不況という言葉が以前よりよく耳にするようになりました。新聞も例外ではありません。しかし私は、地方紙はそのあおりを受けてはいるものの、根強い需要があるのではないかと考えています。

全国紙に比べ、地方紙の強みは地元ローカルは話題を多くあつかえるというところにあります。身近な知人が特集されている記事を読むことができるというのはネットや全国紙ではほとんどないでしょう。とりわけ沖縄は、他県と隣接していないという特性も相まって、全国的に見ても地元愛、郷土愛が強い傾向にあります。このことから、県内販売部数トップである貴社の役割や、どのような使命感を持ち記事を作成しているのか、大変興味を持ちました。インターンシップで体験させていただく「営業コース」では新聞に掲載される企業の広告がどのような流れで決まるのか、そして企業がどのような層を意識して広告掲載の判断を下しているのかを学び、現在の地方紙の需要が今後どう変化していくのかなどに迫っていきたく思います。